中~高品質サンプリングが地盤物性値と設計に与える影響

東日本旅客鉄道(株)正会員○油谷 彬博 フェロー会員 中村 宏 ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)正会員 田中 祐二 正会員 末永 仁良 (株)複合技術研究所 正会員 三平 伸吾

1. はじめに

文献 1), 2)で、サンプリングの品質が地盤物性値と設計に影響を与えること、中~高品質サンプリングが地盤物性値を改善することを述べてきた。本稿では、一般のサンプリングと中~高品質サンプリング (IFCS・GS) による比較事例を紹介し、サンプリング種別、地盤種別ごとに粘着力 \mathbf{c}' と内部摩擦角 $\mathbf{\phi}'$ を整理したデータから、中~高品質サンプリングによる地盤物性値の改善程度に関して考察する。

2. 中~高品質サンプリング実施事例

2. 1切土耐震診断用の検討事例

当箇所の地盤調査で実施したサンプリング方法を表-1 に、トリプルサンプリングによる当初調査と GS・IFCS による追加調査後の地盤物性値と耐震診断結果を図-1 に示す. また、現地の概況とサンプリングごとの地盤物性値を図-2 に示す.

当箇所は、当初調査のトリプルサンプリングでは、B層(埋土層)の地盤物性値が小さく、耐震診断で無補強時の変形量が大きい、当箇所では、軌道と斜面との離隔が大きく、吹付格子枠が施工済みである。これより、対策要否を判断するため、当初調査箇所の近傍で、IFCSサンプリングとGSサンプリングによる追加調査を実施し、再度耐震診断を実施した。B層は自然堆積地山の切土ではなく、現在の位置に移設する前の電車線位置を埋め立てた地層である。B層とHos層(本郷層)の設計用地盤物性値の考え方を以下に述べる。

図-2 表より B 層については、IFCS の飽和三軸圧縮試験値の平均値とし c'=5.5kN/ m^2 , $\phi'=35.0$ ° とした.

Hos 層については, GS・IFCS による飽和三 軸圧縮試験結果は,当初 調査より φ' は大きく, c' はほぼ 0 となった. GS・IFCS の不飽和三軸

・グごとの地盤物性値一覧(B 層 地点番号 地層紀号 試料番号 試料条件 飽和 無和 IFCS GS IFCS GS IFCS GS トリプル IFCS 6S IFCS GS トリプル IFCS GS 15. 676 17. 364 19. 777 18.708 19.031 19. 630 20. 434 16. 706 18. 413 19. 159 19. 237 19. 267 20.0 36.8 26.9 19.5 14.6 31.6 33. 7 48. 9 15. 2 0.5 11.0 0.0 8.5 1.3 0.0 0.0 0.0 35 4 38 5 No. 7-4F No. 7-2L 電車線と貨物線の立体交差箇所 降伏震度(強度比) 0.224/0.091≒2.46 宅地(不透水に近い) 建築限界+100mm 橋りょう B層(埋土

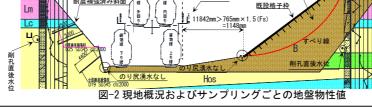
表-1 サンプリング方法の比較 3)~6)

		中~高品質	<u>サンプリング</u>		
サンプリング方法	3重管サンプリング (トリプル)	GSサンプリング (固定ビストン式 二重管サンプル)	IFCSサンプリング (スリーブ内臓 二重管サンプル)		
略図特徴	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第一以内のが 中のプラート等 日報報をお 「中のイター 「中のイター」 一のイターを 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の	27 日本		
サンプリング径	φ75,83mm(一般值)	ф70~ф200mm	φ42.5~φ75mm		
ボーリング径	φ116mm以上(一般値)	ф90∼ф240mm	ф66~ф116mm		
対象とする地層	・中くらい~硬質の粘性土 ・中くらい~硬質の砂質土	・軟質~硬質の礫質土 ・軟質~硬質の砂質土	・軟質~中くらいの粘性土 ・軟質~中くらいの砂質土		
採取方法	2重管と同様に施工し、試料 採取において内管の内側の チューブで採取を行う.	採取用の内管先端を掘削部 近傍に設置させる一方で、 供回りを防止し、削孔水を 直接試料に当てない形で採 取する。	従来からある2~3重管サンプラーに微細気泡材と高粘性流体を併用して用い、低送量で削孔を行う。		
対象土層(緩い砂質 土層)に対する評価	主に砂質土用サンプリング であるが、本サンプリングで も乱れが大きい知見が多い。	対象土層となる緩い砂質土 層に対して、比較的高品質 な試料採取が可能となる.	対象土層となる緩い砂質土 層に対して、比較的高品質 な試料採取が可能となる.		
費用 (3重管サンプリング を1.0とした場合)	1.0	3.0	1.5		
実績	・全土質に対する実績多数・ 砂質凝灰岩等でも実績あり (静・動的強度試験に採用)	・最新の工法 ・盛土,切土耐震で採用(静・ 動的強度試験に採用)	・最新の工法 ・盛土,切土耐震で採用(静・ 動的強度試験に採用)		
特記事項	緩い砂質土の動的特性評価には、別途供試体に小さい歪を与えて、乱れの影響を除去して評価することもある。	緩い砂質土の大口径(径 100mm)のサンプリングでは、 乱れが出たが、押し込み長 を短くして採取率を向上させ た報告あり、	水の代りに微細気泡材と高 粘性流体を併用し、試料採 取時の乱れを抑制する		
留意点	緩い砂質土で、完璧なサンプリングは困難と考えられる. 押し込み頻度、回転トルク、削孔水を 抑える等の丁寧な作業を必要とする。				

No.7	-4R ±	也盤物性値	直 トリプル	(当初調査	E)		LIIデルノ水 物理本)
			peak強度		res強度		トリプル(当初調査) ・<全体>耐震診断の結果(補強前の数値)
	層	γ (kN/m ³)	C'peak	Φ' _{peak}	C'peak	φ' _{peak}	
		(kN/m)	(kN/m^2)	(°)	(kN/m ²)	(°)	降伏震度 Ky = 0.091 (ピーク強度時)
E	3層	16.0	0.5	34.5	0.5	34.0	降伏震度 Ky = 0.082 (残留強度時)
L	m層	13.0	29.5	32.0	12.5	34.5	滑動変位 δ = 2612 mm > 500mm
L	c層	17.0	5.0	29.0	3.5	30.0	円弧すべり抵抗係数 frs =1.00
He	os層	17.0	2.5	34.0	4.0	33.5	口がり、くり払がは未致 Irs -1.00
No.7	-4R ±	也盤物性値	i IFCS(ii	加調査)	·····································		
		r	peak強度		res強度		1503(温加調量) <全体>耐震診断の結果(補強前の数値)
層	(kN/m ³)	C'neak	φ' _{peak}	C'peak	ϕ'_{peak}		
		(kN/m ⁻)	(kN/m^2)	(°)	(kN/m^2)	(°)	降伏震度 Ky = 0.224(ピーク強度時)
E	3層	16.0	5.5	35.0	5.5	35.0	降伏震度 Ky = 0.224(残留強度時)
L	m層	13.0	29.5	32.0	12.5	34.5	滑動変位 δ = 765 mm > 500mm
L	c層	17.0	5.0	29.0	3.5	30.0	円弧すべり抵抗係数 frs =1.00
H	os層	17.0	6.0	35.0	6.0	35.0	1 3 MA 7 * * 7 145 M 3 M 3 M 11S - 1.00

図-1 調査前後の地盤物性値(設計用)および耐震診断結果

Hog



キーワード 乱れの少ない試料, サンプリング, 地盤物性値

連絡先:〒151-8512 東京都渋谷区代々木二丁目2番6号 JR 新宿ビル4階 TEL03-6276-1251 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター 耐震土構造PT 圧縮試験では ϕ' は比較的大きく、飽和時より大きい c' (7.3~16.4 kN/m²) が得られた。のり尻に湧水が無いこ と,斜面上は宅地であり雨が浸透しにくいと考えられることから,Hos 層は大半が不飽和領域と判断しc'=6.0kN/ m^2 , φ'=35.0°とした(Hos 層の地盤物性値で周辺切土の耐震設計を実施).

B層の地盤物性値を見直して再度耐震診断を実施し、L2 地震動による変形量照査値に安全率 1.5 を見込んだ滑動 変位量 δ: 765mm×1.5(Fs)=1,148mm が、列車走行を阻害しない位置(建築限界+100mm)まで十分離隔が確保出来

るため対策不要と整理した(図 -2).

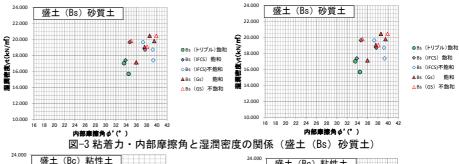
3. サンプリングと C'. ø'に 関する考察

図-3~6 は、当社の土構造耐震 の地盤調査で実施した各層ごと の粘着力 c' と内部摩擦角φ'を サンプリング方法別に整理して いる. 得られた結果について考察 する.

・図-3,4のIFCS飽和三軸圧縮試 験に着目する. o' は、他のサ ンプリングと同程度であり, c' は逆に大きい傾向であった.

IFCS により、埋土(砂質土・ 粘性土)で地盤物性値 (τ= c' $+\sigma'$ tan σ') が改善されると 言える.

- ・図-5の関東ローム層(Lm)では, c', φ' とも, 一般法と IFCS で 大きな差異は見られなかった. 文献2)で改善された事例はある が, 全体的に Lm 層では, 高品 質サンプリングによる改善効果 は顕著ではない.
- ・図-6 の IFCS 不飽和三軸試験に 着目する.



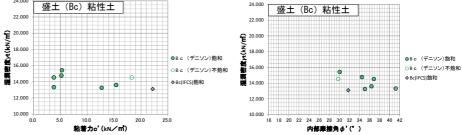


図-4 粘着力・内部摩擦角と湿潤密度の関係(盛土(Bc)粘性土)

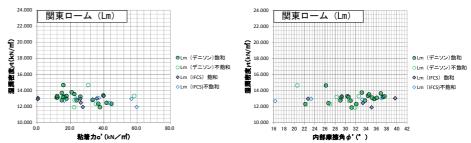


図-5 粘着力・内部摩擦角と湿潤密度の関係 (関東ローム (Lm))

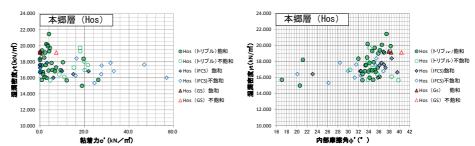


図-6 粘着力・内部摩擦角と湿潤密度の関係(本郷層(Hos))

Hos 層では、IFCS サンプリングの \mathfrak{o}' は他のサンプリングと同程度であり、 \mathfrak{c}' は相対的に大きな傾向を示した。 IFCS 不飽和三軸試験では、 Hos 層で地盤物性値(τ)を改善すると考える.

4. まとめ

IFCS サンプリングにより埋土層(砂質土・粘性土)と洪積層の Hos 層で地盤物性値が改善されると考える.

参考文献

- 中村宏他:中~高品質サンプリングが地盤物性値と設計に与える影響(その1),第53回地盤工学研究発表会,2018.7
- 油谷彬博他:中~高品質サンプリングが地盤物性値と設計に与える影響(その2),第53回地盤工学研究発表会,2018.7
- 3)
- 地盤調査の方法と解説、社団法人地盤工学会、2004.6 平井孝治、他:サンプリングの泣き所も乱れの少ない方法で採取(GSサンプリング)、地盤工学会誌、2015.4 4)
- 上田正人: 微細気泡ボーリングシステム (IFCS), 地盤工学会誌, 2015.5 5)
- 他:礫質土のサンプリング事例,全地連「技術e-フォー -ラム2008」高知, No.2008_38, 2008.10 6)
- 7) 東日本旅客鉄道株式会社: 土構造物耐震補強設計マニュアル, 2013.5
- 鉄道総合技術研究所:鉄道構造物設計標準·同解説 土構造物編, 丸善, 2007